平成 20 年 12 月

お客様各位

日機装株式会社

輸液ポンプ（滴下制御方式）の滴数変更について

対象機種：輸液ポンプ PFA-16(2005 年度以降製造機種のみ)

謹啓　寒冷の候、貴院ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

早速でございますが、輸液セットの滴数が厚生労働省告示 112 号により平成 21 年 4 月 1 日より 1mL 当たり 20 滴、60 滴に統一されます。弊社の輸液ポンプ PFA-16 につきましては、1mL 当たり 15 滴、19 滴、20 滴および 60 滴の輸液セットが使用可能でございますが、輸液セットの滴数が 20 滴、60 滴に統一されるため、今後も適切にご使用いただけるように下記の対応をお願い申し上げます。

謹白

記

１．使用される滴数への PFA-16 の設定変更について

(1)PFA-16 は誤設定の防止のために、使用しなくなった 15 滴、19 滴の設定を表示しない状態とし、**20 滴、60 滴のみ使用できるように設定変更が可能です。**貴院で 20 滴、60 滴の輸液セットに統一された際には、設定変更をお願い致します。設定変更の方法は添付別紙を参照下さい。

(2) 対象機種

設定変更の際、必ず製造番号をご確認下さい。

製品・型式	承認番号	製造番号
輸液ポンプ PFA-16	21000BZZ00228000	65001-01～66003-20

２．20 滴、60 滴の輸液セットの使用について

新たな 20 滴、60 滴の輸液セットをご使用される場合には、適切に輸液が行われることの確認をお願い致します。

ご不明の点は最寄りの営業所にご連絡下さい。

以　上

別紙

平成20年12月

日機装株式会社

設定変更の方法

対象機種：PFA-16(2005年度以降製造)

ご使用の輸液セットを20滴、60滴に切り替えの際には、次の内容を実施いただけますようお願いします。

【輸液ポンプのお取り扱いについて】

1．設定変更（手順）＊詳細は取扱説明書の「第１１章　設定方法」を参照ください。

(1) 通常モードから設定モードへの移行

①装置が停止している状態で[ファンクション]キーと[輸液流量]キーを同時に押すと、設定モードへ移行します。

②設定モードでは、「設定」青色ランプが点灯し、滴数換算設定値表示器に設定番号が、予定量／積算量表示器に設定値が表示されます。

(2) 設定モードでの滴数モード（20、60 滴）の設定

①[輸液セット]キーを押して、滴数換算設定値表示キーの表示を点滅に変えます。

②[△]キーまたは、[▽]キーを使って、滴数換算設定値表示器に表示される設定番号を３７(滴数モード)に変更します。

③[予定量／積算量]キーを押して、予定量／積算量表示器の表示を点滅に変えます。

④[△]キーまたは、[▽]キーを使って、予定量／積算量表示器に表示される設定値を３(滴数制限あり(20, 60 滴が選択可能))に変更します。

⑤[輸液セット]キーまたは[予定量／積算量]キーを押すと設定値を確定することができます。

(3) 設定モードから通常モードへの移行

設定モード中に、[ファンクション]キーと[輸液流量]キーを同時に押すと、通常モードへ戻ります。この際に「設定」青色ランプが消灯していることを確認してください。

2．滴数換算値の設定を行いましたら、20 滴、60 滴の輸液セットを使用して次の事項をご確認ください。「気泡」「閉塞」「滴下異常」などの各警報の動作、「積算量」の表示と実際に輸液された量の誤差の有無をご確認ください。ご確認の結果、各警報の動作及び積算量に異常がありましたら、輸液セットを再装着し、取扱説明書に従って各部を再設定のうえ再度各警報の動作及び積算量をご確認ください。

【その他】

1．誤使用を避けるため、異なる滴数が混在しての使用は避けていただけますようお願い申し上げます。

2．上記のほかご不明な点などございましたら、最寄の営業所にお尋ねください。

以　上